

思いやりと優しさのある、良質で安全な医療を提供いたします。

HOKUTO TIMES

社会医療法人北斗会 大洲中央病院広報誌「ホクトタイムス」

No.

63

2020/10



麻痺の後遺症や下肢筋力の低下した患者さんに対して、歩行アシストによるロボットリハビリテーションを行っています。

Zoom Up!
OozuchuoHospital



【脳卒中リハビリテーション】

前号の脳卒中の予防と治療に引き続き、今号では脳卒中のリハビリテーションについてご紹介させていただきます。

脳卒中は、脳梗塞、脳出血、くも膜下出血に大別され、特徴的な症状としては、手足などが動かしにくくなる運動麻痺や、触れられた感覚や痛み、温かい・冷たいなどの情報や、自分の身体が現在どのような姿勢なのか分からなくなる感覚麻痺があります。また、食べ物や飲み物をうまく飲み込むことが出来ない嚥下障害、話す能力や記憶力、注意力などが低下する高次脳機能障害などの後遺症が残ることがあります。これらの患者さんの様々な後遺症に対して、当院ではリハビリスタッフが複数担当制で、365日休まずリハビリテーションを提供しています。

発症後早期からリハビリを開始し、在宅復帰・社会復帰を目指した訓練を行っています。

患者さんが入院されたら、状態に応じて発症後早期から、日常生活に必要な歩行や食事、排泄、入浴、更衣などの動作を再獲得するため、急性期リハビリテーションを開始します。その後、短時間で病状や機能が回復された患者さんは退院になりますが、少し自宅退院に不安のある患者さんは、地域包括ケア病棟で最大60日間のリハビリを行って頂きます。更に長期的かつ集中的なリハビリが必要な患者さんは、回復期リハビリテーション病棟で60～150日間（一部180日間）リハビリを行って頂きます。

リハビリは、患者さんの機能障害に応じて、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士の専門性の異なるリハビリスタッフがチームを組んで行います。理学療法士は、病気やケガによる運動能力の低下を改善し、起き上がりや立ち上がり、歩くといった基本動作の回復を目指します。作業療法士は、道具を使用した手先の細かい動作の訓練や、着替えや入浴動作の訓練を行います。また、退院後自宅で料理をされる方には調理訓練なども行います。言語聴覚士は、話

すことや聞くことなどのコミュニケーション機能障害に対する訓練や、食べ物の飲み込みなどの嚥下機能の改善を目指した訓練を行います。

これらの患者さんご自身に対する訓練に加え、ご家族に対しても自宅の生活を想定した歩行や車椅子への乗り降りなどの介助方法の指導を行っています。また退院前には、必要に応じてリハビリスタッフが患者さんのご自宅にお伺いし、患者さんの能力に合わせた段差解消や手摺りの設置といった住宅改修に関することや、福祉用具の選定などのアドバイスを行って、患者さんやご家族の不安が少しでも軽減して、円滑な在宅復帰が実現できるようにしています。



家族への歩行介助方法の指導

歩行アシストによる歩行データを患者さんと共に確認。改善が見えることでモチベーションも上がります。



Zoom Up!
OozuchuoHospital



【リハビリの成果をデータ化して活用】

更に当院では自動車運転支援を行っています。自動車は毎日の生活において通勤や買物などに欠かせない移動手段の一つです。しかし、ご病気になられた後の運転の再開には様々な問題があったり、また患者さんご自身も不安を抱えていたりすることがあります。そのため、医療機関で適切な助言を受け、運転免許センターで検査を行った上で、運転再開の判断をしていく必要があります。仮に自動車運転が困難と判断され免許返納となった場合でも、生活様式の代替え案や自治体などの自主返納の支援制度の紹介をさせて頂き、返納後もなるべく入院前の生活に近い、不自由のない生活が送れるように支援を行っています。

ロボットリハビリテーションによる、歩行理論に基づいた効率的な歩行リハビリを提供しています。

当院では、歩行訓練時に「HONDA 歩行アシスト (以下歩行アシスト)」を導入しています。歩行



HONDA 歩行アシスト

アシストとは、倒立振りモデルに基づく効率の良い歩行を誘導する歩行訓練機器です。この歩行アシストは、股関節の角度センサーで歩行状態を検出し、患者さんの歩行に合わせて股関節に出力を与えることで足の振り出しや蹴り出しをサポートして、体幹姿勢の補正を行うと共に、左右対称でリズムカルな両足の歩行を誘導することが特徴です。歩行アシストを使用した歩行訓練は、杖や歩行器などを使用して、自身で脚の振り出しが出来る患者さんに適用されます。また、歩行訓練に向けて脚を振り出す練習が必要な患者さんに対して、片方の脚を反復して振り出す練習に使用されます。

適応疾患は、脳出血、脳梗塞、くも膜下出血などの脳卒中や、大腿骨 (太ももの骨) の骨折の手術後、変形性関節症による股関節や膝関節の人工関節置換術の術後などです。また歩行アシストを装着した歩行訓練を行う事で、体力の消耗を抑えた歩行が可能となるため、体力や筋力が低下した患者さんに対して、連続歩行距離の延長や体力向上を目的としたリハビリに使用することができます。

歩行アシストはタブレットと連動しており、股関節への出力調節だけでなく歩数、歩幅、歩行速度、左右股関節の動きなどが記録でき、実際の歩行場面を動画で撮影し確認します。これらの記録は、患者さんの問題点の抽出や訓練内容の見直しにも利用できます。また、定期的に歩行計測を行って記録を確認することで、患者さんご自身にも歩行状態の改善を実感して頂けます。

食べる楽しみを取り戻す 摂食・嚥下リハビリテーション

口から入ってきた食べ物や唾液などが、食道へ入らずに気管に入る事を誤嚥といいます。健康な人が食べる時には物を飲み込む事を意識することはほとんど無く、ほぼ自動的に飲み込みの動作を行っています。しかしこの食べ物を飲み込む仕組みは、実はとても複雑で、多くの器官の一連の動きが組み合わさり連動して動いています。これを嚥下運動といいます。脳や神経に障害がある場合や、加齢による筋力低下や反射神経の低下がある場合には、この嚥下運動が上手に出来ないことがあり、これを嚥下障害といいます。

嚥下障害に対するリハビリは、主に言語聴覚士が行います。言語聴覚士は、嚥下障害の状態を判定し、患者さんの状態に合わせて、段階に沿ったリハビリテーションを提供し、再び口から自然な形で栄養を摂れるよう援助します。



頸部聴診で飲み込みの前後の喉の音を確認

「見えない障害」と言われる 高次脳機能障害

病気や事故などの様々な原因で脳が部分的に損傷を受けた為に、言語、思考、記憶、行為、学習、注意等の知的な機能に障害が生じた状態を、高次脳機能障害と言います。主に注意力や集中力の低下がみられ、比較的古い記憶は保たれているものの新しい事が覚えられない、感情や行動の抑制が利かなくなるなどの精神・心理的症状が出現し、周囲の状況に合った適切な行動ができなくなるため、生活に支障をきたすようになります。この高次脳機能障害は、本人自身も十分に認識出来ていない事が多く、また、家庭での何気ない日常生活場面や、職場、学校、買い物、役所や



高次脳機能障害のリハビリ

銀行の手続き、交通機関の利用などの社会活動の場面で出現しやすい為、病院や診察室では気付かれずに見落とされやすいといった特徴があります。更に、麻痺などの外観上の問題が無いことが多いことも、問題が表面化しにくい要因のひとつになっています。これら高次脳機能障害に対して障害全体を評価・判定し、何が基本的な問題を洗い出し、それぞれの患者さんに適したリハビリテーションを行います。

高次脳機能障害の 代表的な障害である失語症

失語症とは高次脳機能障害の一つで、脳梗塞、脳出血、くも膜下出血など脳の病気が原因で「聞く、話す、読む、書く、計算する」と言った、特に言語に関する機能に障害が認められる状態をいいます。例えば、自分がどこか知らない国に行った時の事を想像してみると分かりやすいと思います。知らない国では現地の人の話が十分理解出来ませんし、自分でも上手に意思を伝える事が出来ません。読み書きも出来ませんので、コミュニケーションがとても不自由な状態になります。失語症は、大きく分けると2つのタイプがあります。1つは、聞いたり読んだりして理解するといった受け取

る能力は比較的良好なのですが、話すといった表出する能力に障害があるタイプです。これを運動性失語と言います。もう1つは、受け取る能力の障害も強い上に、言葉は流暢に出てくるけれど言い間違いが多く、会話内容が薄いタイプです。これを感覚性失語と言います。

これらの失語症のタイプを精査し、得意な事や苦手な事を整理して、患者さんそれぞれの長所を生かしたりリハビリテーションを行っています。

このように脳血管疾患の後遺症は、症状も程度も様々で多岐にわたります。これらの後遺症に対して、当院ではリハビリスタッフがそれぞれの専門の立場から意見を出し合い、チームで取り組んでいます。今後も、患者さんやご家族と目標を共有し、ご希望の生活に少しでも近付けるよう、リハビリテーション科一同努力してまいります。



絵カードを使用している呼称・音読訓練

からだに効く
レシピ

Point!
主菜にも
副菜にもなる
1品です

大洲中央病院栄養科

鮭としめじの吹き寄せ

■材料 (2人分)

鮭切り身	2切れ	うすくちしょうゆ	大さじ1
しめじ	100g	みりん	大さじ1
ほうれん草	120g	砂糖	小さじ1
だし汁	200ml		

■作り方

- ①ほうれん草をゆでて4cm幅に切る。
- ②鍋にだし汁、うすくちしょうゆ、みりん、砂糖を入れ、中火にかける。
- ③しめじを加え、ひと煮立ちするまで加熱する。
- ④煮立ったところで1口大に切った鮭の切り身を加え加熱する。
- ⑤鮭に火が通ったらほうれん草を加え、火を止めてしばらく置いて味をなじませる。



院内美術館
29

すぐそばにある絵画

『メイエンヌ川』
奥津国道作

次号は、レスリーセイヤー
「レスリースピキュ」をご紹介します。

澄明で繊細な筆致

今回ご紹介するのは、1F内視鏡センター受付横にある、フランスの風土をこよなく愛した“水と緑の画家”奥津国道の「メイエンヌ川」。軽快で繊細な筆致の風景画は多くのファンを魅了している。

奥津国道 / 1932年神奈川県生まれ / 1949年宮永岳彦に師事 / 1953年 ユニヴァーサル映画入社 / 1955年平凡出版アートディレクター / 1978年「現代の裸婦展」奨励賞受賞

防災訓練を実施しました

8月24日に消防計画に基づいた防災訓練を行いました。今回の訓練は、進行型災害(水害、台風、集中豪雨等)の発生時に患者さんと職員の安全確保及び施設の被災を最小限にして医療行為を継続することを目的とし、防災タイムラインを利用した訓練を行いました。防災タイムラインとは、災害の発生を前提に、災害時に発生する状況を予め想定し、「いつ」「だれが」「何を」するかの行動計画です。各部署が防災タイムラインに沿って訓練を行うことで、防災意識の向上、連携の強化にも繋がります。今回、初めてタイムラインを利用した訓練を行い、継続した訓練の必要性を改めて感じました。訓練後には、訓練実施者が集まり振り返りを行いました。本部立ち上げ後、だれがどう行動するのかという役割を明確にすることを引き続きの課題として、次回の訓練に活かすようにしたいと思います。近年、多くの自然災害が発生しています。実際に災害が発生した際に正しい行動がとれるような訓練を今後も継続して行きたいと思っております。



防災対策委員 事務部 医事課 東 研志

看護学生の臨地実習を受け入れました

当院では、平成29年度より人間環境大学松山看護学部の臨地実習を受け入れております。今年も8月20から3日間、基礎看護学実習として1年生5名を受け入れ、看護職者の役割や機能、療養環境等の基礎的なところを学んでもらいました。当院での受け入れは4年目となりますが、学生さんは初めての臨地実習です。患者さんにご協力頂き、看護ケアの見学や、実際にお話をする機会を持つことができました。最初は緊張して、なかなかお話しすることが出来ませんでした。日を追うごとに積極的にコミュニケーションが取れるようになりました。学生さんと一緒に実習を体験することで、私たちも新たな視点での気づきがあり、いい学びの機会となりました。コロナ禍の中での実習でしたが、感染対策を行いながら体調を管理し、無事実習を終えることができました。今回の実習にあたりご協力いただきました患者さん・ご家族の皆さん本当にありがとうございます。



本館4階病棟 蔵田 麻由巳

七夕会を開催しました

8月6日に、介護医療院ほととの夏の季節行事として七夕会を開催しました。今年は、新型コロナウイルス感染症の影響で、残念ながらご家族のご招待が出来なかったため、入所者の方々とスタッフでの開催となりました。

会場のデイルームには、感染予防対策を行った上で、風船や七夕のモチーフの絵を飾り付け、笹には手作りの七夕飾りや、事前に入所者のご家族に願い事を書いて頂いた短冊を飾りました。また、各部屋にもスタッフ手作りのミニ笹飾りを置き、参加できなかった方にも雰囲気を楽しんで頂きました。

七夕会では、まず全員で童謡の「たなばたさま」を合唱した後、栄養科手作りの星の模様の入った可愛らしい七夕ゼリーを食べて、最後に全員で記念撮影をしました。短い時間ではありましたが、入所者の方からは沢山の笑顔と「良かった。ありがとう。楽しかった」という言葉を頂戴し、スタッフ一同大変嬉しい気持ちになりました。

今後もコロナ禍の中であって、入所者の方やご家族が笑顔になって頂けるような企画を考えてまいります。



介護医療院ほと ヘルパー 熊野 まゆみ

外来診療医師一覧表

診療科目	月曜	火曜	水曜	木曜	金曜	土曜	日曜
内科	1診	近藤 賢之	休診日	大久保啓二	大久保啓二	近藤 賢之	大久保啓二
	2診	岡本 傳男		岡本 傳男	井上 明子	岡本 傳男	岡本 傳男
	3診	井上 明子		井上 明子	近藤 賢之	大久保啓二	非常勤
	4診	浅川 建史		清家 愛理	清家 愛理	非常勤	浅川 建史
外科	1診	森岡 徹	休診日	森岡 徹	森岡 徹	森岡 徹	森岡 徹
	2診	満谷 臨		満谷 臨	満谷 臨	満谷 臨	満谷 臨
整形外科	1診	栗田 英明		栗田 英明	栗田 英明	栗田 英明	藤澤 圭史
	2診						栗田 英明
泌尿器科		清水 公治		清水 公治	清水 公治	清水 公治	
脳神経外科	1診(新患)	西原 潤		西原 潤	西川 真弘	重川 誠二 末廣 (隔週)	橋本 尚樹(第1-3) 戸田 茂樹(第2-4)
	2診(再診)	西川 真弘		西川 真弘	西原 潤		西原 潤
形成外科						森 秀樹(第1-3-5) 真田紗代子(第2-4)	

受付時間 午前8時00分～午前11時30分

診療開始時間 午前9時00分～ 担当医師は緊急手術などで変更する場合がありますので、事前にお問い合わせください。(休診になる場合あり)

休診日(10～1月) 救急診療のみ… 1月1日(金)、1月2日(土)、1月3日(日)
休診日… 火曜、水曜、11月23日(月)、12月31日(休)、1月11日(月)

お見舞い・面会時間 午後1時00分～午後5時30分
(新型コロナウイルス感染予防のため変更になる可能性がありますので、事前にお問い合わせください。)

◎大洲・喜多地区の一週間の救急当番

- 金～日曜日…大洲中央病院
(日は18:00まで)
- 日曜日…市立八幡浜病院(18:00～)
- 月曜日…市立大洲病院
- 火曜日…市立大洲病院
- 水曜日…加戸病院(昼)、
喜多医師会病院(夜)
- 木曜日…大洲記念病院(昼)、
市立八幡浜病院(夜)

編集後記

今年の夏は、記録的な豪雨が続き、九州地方や東海地方に多くの被害をもたらしました。愛媛県も、早い段階から長時間に渡って大雨特別警報が発令され、2年前の西日本豪雨災害を思い出しました。“備えあれば憂いなし”とはいうものの、日に日に増水していく肱川の水位を見て、改めて自然災害の恐怖を感じました。今回の豪雨では、新型コロナウイルスによる生活の変化もあり、ストレスが重なっている人も多いと思います。新型コロナウイルスもまだまだ予断を許さない状況ですが、今後も病院全体でしっかり感染対策を行い、地域の皆様に安心・安全な医療を提供できるよう努めてまいります。

発行/社会医療法人 北斗会 大洲中央病院

編集/広報委員会

寺尾 光司(事務部長・理事) /
京河 雅史(放射線科長) / 竹岡 照枝(看護師長)
道休 由佳里(看護師長) /
井上 結希(リハビリテーション科) /
大西 修平(リハビリテーション科) /
藤岡 真里子(栄養科) / 谷本 志津(医事課)



社会医療法人 北斗会
大洲中央病院

